

主要農作物 奨励品種特性表

令和7年3月発行

三重県

目次

1. 水 稲	2
2. 麦 類	4
3. 大 豆	5
4. 参考資料	
(1) 稲・麦・大豆の作付面積の推移	6
(2) 稲の品種別作付面積及び種子更新率の推移	7
(3) 麦の品種別作付面積の推移	9
(4) 奨励品種等の最近の改廃状況	10
(5) 令和6年産産地品種銘柄	11

1. 水稲

種類	早晚性	品種名	来歴 (育成場所 育成年)	採用年次	播種期	田植期	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	芒の多少・長短	ふ先色	草型	穂発芽性
	早生	あきたこまち	コシヒカリ×奥羽292号 (秋田県 昭和59年)	平成8年	月日 4.04	月日 4.25	月日 7.10	月日 8.12	cm 81	cm 19.1	本/m ² 440	少・短	白	中間	やや難
		コシヒカリ	農林22号×農林1号 (福井県 昭和31年)	昭和34年	4.02	4.24	7.15	8.17	90	19.7	448	少・短	白	中間	難
		キヌヒカリ	(収2800×北陸100号)F1 ×ナゴユタカ (独)北陸研究センター 昭和63年)	平成3年	4.02	4.24	7.17	8.19	78	18.6	418	無	白	中間	やや易
		三重23号	関東200号×関東196号 (三重県 平成23年)	平成23年	4.02	4.24	7.11	8.10	78	19.7	432	稀・短	黄白	中間	やや難
		なついろ	三重23号×ともほなみ (三重県 令和元年)	令和2年	4.02	4.24	7.12	8.10	81	20.6	426	稀・短	黄白	中間	やや難
	みえのゆめBSL	みえのゆめ×(みえのゆめ*2/R307-48-9//2*みえのゆめ)F1 (三重県・農研機構 令和2年)	令和4年	4.26	5.14	8.04	9.06	72	20.8	365	稀・短	黄白	偏穂重	やや難	
	みのりの郷	みえのゆめ×愛知109号 (三重県 平成30年)	令和元年	4.25	5.14	8.10	9.14	72	21.3	354	少・短	黄白	偏穂重	やや易	

脱粒性	心白の多少	腹白の多少	玄米千粒重	品質	食味	諸抵抗性				耐倒伏性	適地ならびに栽培適性	その他特性等
						葉いもち	穂いもち	白葉枯病	紋枯病			
難	稀	稀	g 22.4	上の中	上の中	中	中	中	中	中	平坦部の早期栽培地帯	良食味。収量性がやや低い。
難	稀	稀	21.4	上の上	上の上	弱	弱	中	中	弱	県下全域の早期栽培地帯	極良食味。耐倒伏性劣る。
難	微	微	21.5	中の上	上の上	中	中	中	中	強	県下全域の早期栽培地帯	良質、良食味、耐倒伏性優れる。穂発芽が発生しやすい。
難	稀	稀	23.3	上の上	上の上	中	やや強	中	中	やや強	県下全域の早期栽培地帯	極良食味、耐倒伏性優れる、高温登熟性強。
難	稀	稀	23.0	上の上	上の上	極強	強	中	中	やや強	県下全域の早期栽培地帯	良質、極良食味、耐倒伏性に優れる、高温登熟性強。
難	無	微	24.0	上の中	上の中	強	強	弱	中	強	県下全域の早植栽培地帯	多収、良質、良食味、耐倒伏性に優れる。ごま葉枯病に強い。
難	稀	稀	23.7	上の上	上の上	強	強	中	中	強	県下全域の早植栽培地帯	良質、極良食味、耐倒伏性優れる。ごま葉枯病に弱い。

調査地：農業研究所（松阪市嬉野川北町） 平成27～令和6年 10年間の平均
 あきたこまち：平成17～平成22年、令和3～6年 10年間の平均
 みよりの郷：平成26～27年、平成29～令和6年 10年間の平均
 なついろ：平成28～令和6年 9年間の平均
 みえのゆめBSL：平成30～令和6年 7年間の平均

※1「みえのゆめBSL」の来歴にある「R307-48-9」はごま葉枯病抵抗性を「コシヒカリ」に付与した育種材料のイネ

※2「みえのゆめBSL」、「みよりの郷」のいもち病抵抗性は真性抵抗性によるもので、いもち病菌の種類（レース）が変化した場合、抵抗性が低下する可能性がある

種類	早晩性	品種名	来歴 〔育成場所 育成年〕	採用年次	播種期	田植期	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	芒の多少・長短	ふ先色	草型	穂発芽性
	晩生	山田錦	山田穂×短稈渡船 〔兵庫県 昭和11年〕	平成元年	5.07	5.25	8.21	9.28	102	18.7	318	無	白	穂重	中

調査地：伊賀農業研究室（伊賀市森寺） 平成27～令和6年 10年間の平均

脱粒性	心白の多少	腹白の多少	玄米千粒重	品質	食味	諸抵抗性			耐倒伏性	適地ならびに栽培適性	その他特性等
						葉いもち	穂いもち	白葉枯病			
難	中	少	g 27.3	-	-	中	弱	-	中	中	県下全域の早期栽培地帯 多収、酒造好適米として極良質。
易	多	少	28.2	-	-	弱	弱	中	中	弱	中山間部（伊賀地域）の粘質土壌地帯 酒造好適米として極良質。長稈で稈質弱く、耐倒伏性劣る。

種類	早晩性	品種名	来歴 〔育成場所 育成年〕	採用年次	播種期	田植期	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	芒の多少・長短	ふ先色	草型	穂発芽性

調査地：農業研究所（松阪市嬉野川北町） 平成27～令和6年 10年間の平均

脱粒性	心白の多少	腹白の多少	玄米千粒重	品質	食味	諸抵抗性			耐倒伏性	適地ならびに栽培適性	その他特性等
						葉いもち	穂いもち	白葉枯病			
難	-	-	g 21.6	上の中	上の中	やや強	やや強	中	中	やや強	県下全域の早期栽培地帯 良質、多収。

2. 麦類

種類	品種名	来歴 (育成場所 育成年)	採用 年次	播種 期	出穂 期	成熟 期	稈長	穂長	穂数	穂発芽性	脱粒性	秋播性程度
	ニシノカオリ	北見春42号×西海157号 (独)九冲農研セ 平成12年	平成16年	11.12	4.02	5.25	102	7.4	524	中	中	I
	タマイズミ	関系W364×関系W361 (独)作物研究所 平成14年	平成15年	11.14	4.12	5.31	97	9.9	476	やや難	中	I Ⅴ II
	さとのそら	(東山25号×西海168号)×ニシカゼコムギ (群馬県 平成20年)	平成23年	11.12	4.06	5.26	90	8.7	609	難	中	IV
	タマイズミR	(タマイズミ/ゆめちから//タマイズミ*2)F2× (TM1G1833/タマイズミ*4)F2 (国研)次世代作物開発研究センター 平成28年	平成28年	11.12	4.05	5.26	92	9.4	523	やや難	中	I Ⅴ II

調査地：農業研究所（松阪市嬉野川北町） 平成26～令和5年播種 10年間の平均
 タマイズミ：平成21～平成30年播種 10年間の平均
 ※秋播性程度はⅠ～Ⅶの7段階で数字が大きいほど高い

種類	品種名	来歴 (育成場所 育成年)	採用 年次	播種 期	出穂 期	成熟 期	稈長	穂長	穂数	芒の多少・長短	心先色	穂発芽性

調査地：農業研究所（松阪市嬉野川北町） 平成26～令和5年播種 10年間の平均
 ※秋播性程度はⅠ～Ⅶの7段階で数字が大きいほど高い

子実		品質	粒色	ふ色	諸抵抗性			耐倒伏性	適地ならびに 栽培適性	その他特性等
千粒重	容積重				赤さび病	うどんこ病	赤かび病			
g 43.3	g/L 806	上の上	褐	黄	強	やや弱	やや弱	強	強	伊勢平野を中心とした県下全域 強稈で耐倒伏性強。砂壤土等では枯熟れ症状が発生しやすい。
42.6	795	上の中	褐	淡黄	中	強	中	やや強	やや強	中南勢地域を中心とした肥沃な土壌地帯 蛋白質含量が高い。収量性がやや低い。
41.3	851	上の中	黄	褐	やや弱	弱	やや弱	中	やや強	県下全域 耐倒伏性やや強。蛋白質含量が高い。
39.0	793	上の上	褐	褐	強	強	中	強	強	県下全域 耐倒伏性強。縞萎縮病抵抗性。
42.1	830	上の中	黄	褐	やや弱	弱	やや弱	強	やや強	県下全域 タマイズミの同質遺伝子系統。縞萎縮病抵抗性以外の特性はタマイズミとほぼ同等。

子実		品質	粒色	ふ色	諸抵抗性			耐倒伏性	適地ならびに 栽培適性	その他特性等
千粒重	容積重				赤さび病	うどんこ病	赤かび病			
g 33.8	g 607	上の中	-	黄	-	中	-	やや強	やや強	北勢地域 長稈で耐倒伏性劣る。

3. 大豆

種類	品種名	来歴 〔育成場所 育成年〕	採用年次	播種期	開花期	成熟期	莖長	一次分枝数	m ² 当稔実莢数	葉型	伸育型(草型)	花色
大豆	フクユタカ	岡大豆×白大豆3号 〔九州農試 昭和55年〕	平成元年	7.14	8.27	11.13	58	4.2	855	鋭先卵形	有限	紫
	すずおとめ	納豆小粒×九系50 〔(独)九冲農研セ 平成14年〕	平成20年	7.11	8.02	10.26	59	5.0	1,554	鋭先卵形	有限	紫
	サチユタカA1号	サチユタカ*6×ハヤヒカリ 〔農研機構作物研究部門 平成24年〕	令和5年	6.21	8.04	10.30	45	7.4	920	鋭先卵形	有限	紫

毛莖の多少・色		熟莢色	裂莢性	子実				諸抵抗性		耐倒伏性	適地ならびに栽培適性	その他特性等	
多少	色			百粒重	形状	大小	種皮色	へそ色	紫斑病				褐斑病
密	白	淡	中	30.6	球	中の大	黄白	淡褐	中	強	中	県下全域	品質良、蛋白質含量高い。まん化しやすい。
密	褐	淡	難	11.5	球	小	黄	黄	中	強	中	県下全域	納豆加工に適する。やや倒伏しやすい。
中	白	中	難	33.8	球	大小	黄白	黄	強	中	強	県下全域	蛋白質含量高い。最下着莢節位高がやや低い。

調査地：農業研究所（松阪市嬉野川北町）

フクユタカ 平成27～令和6年 10年間の平均

すずおとめ 平成23～平成29年、令和4～令和6年 10年間の平均

サチユタカA1号 令和元～令和6年 6年間の平均

4. 参考資料

(1) 稲・麦・大豆の作付面積の推移

(単位：ha、t)

種 類		平成26年産		平成27年産		平成28年産		平成29年産		平成30年産	
		面 積	収 穫 量	面 積	収 穫 量	面 積	収 穫 量	面 積	収 穫 量	面 積	収 穫 量
稲	水 稲	29,500	144,800	28,300	138,700	27,600	144,100	27,400	131,500	27,500	137,200
	陸 稲										
麦	小 麦	6,020	20,800	6,340	16,900	6,500	16,000	6,430	19,000	6,230	19,000
	はだか麦	×	×	×	×	×	×	9	25	31	114
	二条大麦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	六条大麦	291	1,020	327	831	327	765	311	833	330	911
大 豆		4,260	3,750	4,490	3,460	4,470	4,250	4,420	4,110	4,390	1,710

種 類		令和元年産		令和2年産		令和3年産		令和4年産		令和5年産	
		面 積	収 穫 量	面 積	収 穫 量	面 積	収 穫 量	面 積	収 穫 量	面 積	収 穫 量
稲	水 稲	27,300	130,200	27,100	129,800	26,300	130,200	25,600	130,800	25,200	126,300
	陸 稲										
麦	小 麦	6,320	23,000	6,550	23,100	6,980	22,800	7,250	25,000	7,440	26,800
	はだか麦	25	93	37	96	29	80	35	96	27	65
	二条大麦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	六条大麦	329	1,230	324	1,260	132	462	102	330	86	289
大 豆		4,290	3,520	4,350	3,260	4,530	4,080	4,530	3,350	4,680	3,840

×：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表されていないもの

—：事実のないもの

資料：農林水産統計

(2) 稲の品種別作付面積及び種子更新率の推移

種類	令和2年産					令和3年産				
	品種名	作付面積 (ha)	作付比 率(%)	種子配布 量(kg)	更新率 (%)	品種名	作付面積 (ha)	作付比 率(%)	種子配布 量(kg)	更新率 (%)
うるち	コシヒカリ	19,871	73.3	513,892	—	コシヒカリ	19,219	73.1	508,524	—
	キヌヒカリ	2,415	8.9	62,464	—	キヌヒカリ	2,398	9.1	63,444	—
	みえのゆめ	742	2.7	19,184	—	みえのゆめ	688	2.6	18,196	—
	あきたこまち	782	2.9	20,228	—	あきたこまち	698	2.7	18,464	—
	みえのえみ	406	1.5	10,512	—	みえのえみ	323	1.2	18,464	—
	三重23号	249	1.1	7,576	—	三重23号	253	1.1	7,704	—
	みのりの郷	114	0.3	2,412	—	みのりの郷	217	0.8	5,732	—
	なついろ	40	0.2	1,436	—	なついろ	141	0.5	3,740	—
	その他	2,068	7.5	52,460	—	その他	1,973	5.9	41,304	—
小計	26,687	98.5	690,164		小計	25,910	98.5	685,572		
水稲もち	あゆみもち	190	0.7	4,908		あゆみもち	197	0.7	5,200	
	その他	223	0.8	5,760		その他	193	0.7	5,116	
	水稲もち	413	1.5	10,668	—	水稲もち	390	1.5	10,316	—
	水稲計	27,100	100.0	700,832		水稲計	26,300	100.0	695,888	
陸稲	うるち	—	—	—	—	うるち	—	—	—	—
	もち	—	—	—	—	もち	—	—	—	—
	小計	0	—	0	—	小計	0	—	0	—
	合計	27,100	—	700,832	86.2	合計	26,300	—	695,888	88.2

(注) (1) 種子更新率は、10a当たり必要種子量を3.0kgとして計算。

(2) 作付面積は、種子配布量から推計した作付比率をもとに算定。また、ラウンドにより合計は必ずしも一致しない。

令和4年産					令和5年産				
品 種 名	作付面積 (ha)	作付比 率 (%)	種子配布 量 (kg)	更新率 (%)	品 種 名	作付面積 (ha)	作付比 率 (%)	種子配布 量 (kg)	更新率 (%)
コシヒカリ	18,724	73.1	489,900	—	コシヒカリ	18,067	71.7	442,020	—
キヌヒカリ	2,155	8.4	56,376	—	キヌヒカリ	2,049	8.1	50,128	—
みえのゆめ	808	3.2	21,152	—	みえのゆめ	847	3.4	20,728	—
あきたこまち	501	2.0	13,100	—	あきたこまち	609	2.4	14,904	—
みえのえみ	79	0.3	2,060	—	みえのえみ	0	0.0	0	—
三重23号	272	1.3	8,628	—	三重23号	262	1.2	7,452	—
みのりの郷	210	0.8	5,504	—	みのりの郷	253	1.0	6,200	—
なついろ	311	1.2	8,140	—	なついろ	359	1.4	8,780	—
その他	2,164	8.2	55,100	—	その他	2,406	9.4	57,800	—
小 計	25,224	98.5	659,960		小 計	24,852	98.6	608,012	
あゆみもち	188	0.7	4,908		あゆみもち	165	0.7	4,028	
その他	188	0.7	4,932		その他	183	0.7	4,488	
水稲もち	376	1.5	9,840	—	水稲もち	348	1.4	8,516	—
水 稲 計	25,600	100.0	669,800		水 稲 計	25,200	100.0	616,528	
うるち	—	—	—	—	うるち	—	—	—	—
もち	—	—	—	—	もち	—	—	—	—
小 計	0	—	0	—	小 計	0	—	0	—
合 計	25,600	—	669,800	87.2	合 計	25,200	—	616,528	81.6

資料：農林水産統計、三重県米麦協会種子配布実績より推計

(3) 麦の品種別作付け面積の推移

(単位：ha)

	品 種	28年産	29年産	30年産	元年産	2年産	3年産	4年産	5年産
小 麦	さとのそら	961	801	556	373	381	389	397	378
	あやひかり	3,637	3,765	4,046	4,541	4,697	4,978	5,212	5,381
	タマイズミ	498	462	492	503	514	516	505	494
	ニシノカオリ	1,377	1,384	1,102	902	992	1,124	1,143	1,211
	そ の 他	26	18	34	32				
	小 計	6,499	6,430	6,230	6,351	6,584	7,007	7,257	7,465
六 条 大 麦	ファイバースノウ	320	318	308	327	325	127	127	86
	そ の 他	0	2	52	2	1	5	5	0
	小 計	320	320	360	329	326	132	132	86
合 計		6,819	6,750	6,590	6,680	6,910	7,140	7,390	7,550

資料：民間流通麦連絡協議会より推計

- (注) (1) 各年産の品種別作付け面積は、収穫期以降若干修正されていることがある。
(2) 民間流通麦連絡協議会調べの播種面積より推計
(3) ラウンドにより合計は必ずしも一致しない。
(4) 「タマイズミ」は、3年産から「タマイズミR」の作付け面積を記載。

(4) 奨励品種等の最近の改廃状況（新規採用を除く）

区 分	品 種 名	経	過
水稻うるち	キヌヒカリ	平成 7 年 4 月	推奨品種から奨励品種へ変更
"	大 空	平成 8 年 12 月	奨励品種から除外
"	秋 晴	平成 8 年 12 月	"
"	初 星	平成 9 年 12 月	"
"	チヨニシキ	平成 10 年 12 月	"
"	晴 々	平成 14 年 12 月	"
"	ナツヒカリ	平成 20 年 7 月	推奨品種から特定品種へ変更
"	どんとこい	平成 20 年 7 月	奨励品種から特定品種へ変更
"	黄 金 晴	平成 20 年 7 月	"
"	あきたこまち	平成 20 年 7 月	推奨品種から奨励品種へ変更
"	山 田 錦	平成 20 年 7 月	"
"	三重 2 3 号	平成 28 年 3 月	認定品種から奨励品種へ変更
"	神 の 穂	平成 28 年 3 月	"
"	ナツヒカリ	平成 29 年 2 月	特定品種から除外
"	ヤマヒカリ	平成 29 年 2 月	奨励品種から除外
"	黄 金 晴	平成 29 年 2 月	特定品種から除外
"	どんとこい	平成 31 年 1 月	特定品種から除外
"	う こん 錦	平成 31 年 1 月	奨励品種から除外
"	みえのえみ	令和 4 年 10 月	奨励品種から除外
"	みえのゆめ	令和 4 年 10 月	奨励品種から除外
水稻もち	カグラモチ	平成 8 年 12 月	推奨品種から除外
"	恵 糯	平成 20 年 7 月	推奨品種から特定品種へ変更
"	喜 寿 糯	平成 20 年 7 月	"
"	恵 糯	平成 31 年 1 月	特定品種から除外
"	喜 寿 糯	平成 31 年 1 月	特定品種から除外
陸稲うるち	陸稲農林 24 号	平成 7 年 11 月	推奨品種から除外
陸稲もち	陸稲農林糯 1 号	平成 7 年 11 月	"
小 麦	フクホコムギ	平成 7 年 11 月	"
"	ニシノカオリ	平成 20 年 7 月	推奨品種から奨励品種へ変更
"	タマイズミ	平成 20 年 7 月	"
"	さとのそら	平成 27 年 7 月	認定品種から奨励品種へ変更
"	農 林 61 号	平成 27 年 7 月	奨励品種から除外
"	ユメシホウ	平成 30 年 11 月	認定品種から除外
"	タマイズミ R	平成 30 年 11 月	認定品種から奨励品種へ変更
二条大麦	成 城 1 7 号	昭和 51 年 11 月	推奨品種から除外
"	あ か ぎ 二 条	昭和 54 年 11 月	"
六条大麦	ファイバースノウ	平成 27 年 7 月	認定品種から奨励品種へ変更
はだか麦	キカイハダカ	昭和 51 年 11 月	奨励品種から除外
"	ハシリハダカ	昭和 54 年 11 月	推奨品種から除外
"	シラタマハダカ	平成 15 年 3 月	奨励品種から除外
大 豆	アキシロメ	昭和 61 年 6 月	推奨品種から除外
"	玉 光	平成 元 年 12 月	"
"	オ オ ツ ル	平成 20 年 7 月	推奨品種から特定品種へ変更
"	タ マ ホ マ レ	平成 20 年 7 月	奨励品種から特定品種へ変更
"	オ オ ツ ル	平成 31 年 3 月	特定品種から除外
"	タ マ ホ マ レ	平成 31 年 3 月	特定品種から除外

(5) 令和6年産産地品種銘柄

区分	産地品種銘柄					
	必須銘柄			選択銘柄		
水稲うるちのもみ及び玄米	あきたこまち	キヌヒカリ	コシヒカリ	イクヒカリ	うこん錦	えみだわら
	どんとこい	みえのえみ	みえのゆめ	縁結び	大粒ダイヤ	きぬむすめ
	ミルクークイーン	ヤマヒカリ		黄金晴	しふくのみり	つくばSD1号
				なついろ	にじのきらめき	ヒカリ新世紀
				ひとめぼれ	ヒノヒカリ	ほしじるし
				三重23号	みつひかり	みのりの郷
				みのりの穂	夢ごこち	
醸造用玄米	伊勢錦	神の穂	五百万石	弓形穂		
	山田錦					
普通小麦	あやひかり	タマイズミ	ニシノカオリ	さとのそら	もち姫	ユメシホウ
普通小粒大麦	ファイバースノウ					
普通大豆及び特定加工用大豆(大粒及び中粒)	タマホマレ	フクユタカ		サチユタカA1号		
普通大豆及び特定加工用大豆(小粒及び極小粒)	すずおとめ					

【品種群について設定されている産地品種】

区分	品種群	品種名				
水稲うるちのもみ及び玄米	みえのゆめ	みえのゆめ	みえのゆめBSL			
	みつひかり	みつひかり2003	みつひかり2005			
普通小麦	タマイズミ	タマイズミ	タマイズミR			

主要農作物奨励品種特性表

令和7年3月発行

三重県農林水産部農産園芸課

津市広明町13

TEL (059) 224-2547